

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関係府省庁連絡会議（第3回）

議事録

日 時：平成27年1月30日(金) 13:10～13:20

場 所：総理大臣官邸4階大会議室

出席者：

議長	内閣官房副長官（事務）	杉田 和博
議長代行	内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室長	平田 竹男
副議長	内閣官房副長官補（内政担当）	古谷 一之
	文部科学省大臣官房長【文部科学事務次官 山中 伸一 代理】	戸谷 一夫
構成員	内閣官房副長官補（事態対処・危機管理）	高見澤 將林
	内閣広報官	長谷川 榮一
	内閣情報官	北村 滋
	内閣法制次長	近藤 正春
	復興庁事務次官	原田 保夫
	内閣府事務次官	松山 健士
	総務事務次官	大石 利雄
	法務事務次官	稲田 信夫
	外務事務次官	齋木 昭隆
	財務事務次官	香川 俊介
	厚生労働事務次官	村木 厚子
	農林水産省大臣官房総括審議官【農林水産事務次官 皆川 芳嗣 代理】	荒川 隆
	経済産業事務次官	立岡 恒良
	国土交通事務次官	本田 勝
	環境事務次官	鈴木 正規
	防衛事務次官	西 正典
	警察庁長官	金高 雅仁
	金融庁長官	細溝 清史
	消費者庁長官	坂東 久美子
大会組織委員会	副事務総長	布村 幸彦

【杉田副長官】

ただ今から、第3回2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関係府省庁連絡会議を開催いたします。

本日は御多忙の中ご参集いただき、誠にありがとうございます。今後、私の方で進行を務めさせていただきます。まず、会議の開催に当たり、私から一言申し上げます。

ご承知の通り、東京大会の開催まで残り5年ということになります。2月には、大会の骨格を決める開催基本計画が策定をされ、大会に向けた準備が本格化する1年になるわけであります。27日には閣僚会議が開催され、安倍総理から「開催基本計画を踏まえつつ、大会成功に向けて一層積極的な取組」を行うよう指示がございました。

東京大会は日本全体の祭典であります。日本各地の伝統、文化、個性を輝かせるよう、文化プログラムの全国的な展開、復興の世界に向けた発信などにより、全国津々浦々にまで、大会の効果を実感できるようにしてまいりたいと考えております。

また、大会の成功に向けては、万全のセキュリティこそが不可欠であります。前回の会議で設置いたしました、「セキュリティ幹事会」を中心として、政府一丸となったテロやサイバーセキュリティ対策が、いよいよ始動いたしました。これらの施策を経済再生、地方創生、危機管理など内閣の重要課題に資するものとしていく必要があるのであります。大会推進本部の設置や基本方針の策定等について、特別措置法案を国会に提出・成立を図ることにより、国の支援体制を強化してまいります。これまでの開催準備についてIOC・IPCから高い評価をいただいておりますけれども、開催基本計画の策定を契機として、さらに準備を加速する必要があります。

関係府省庁におかれては、次官の皆様が先頭に立って、この施策を相互に連携し、横断的な展開を図るとともに、担当部局の施策を磨き上げていただきますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、議事に入ります。

まず、一つ目の「大会組織委員会の「大会開催基本計画（案）」について」について、大会組織委員会の布村幸彦副事務総長より説明をお願いします。

【布村副事務総長】

よろしくお願い致します。組織委員会副事務総長の布村です。

資料1をご覧くださいながらご説明したいと思います。まず関係省庁連絡会議を開催いただき誠に有難うございます。また各省庁の方々には多面的にお世話になっており、この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。今月の1月24日で組織委員会が発足して1年を数えました。2020年まであと5年しかない、そういう気持ちで大会準備に取り組んでいるところでございます。

大会成功の為には国との連携が重要な課題でございますので関係省庁の皆さま方の多大なるご協力、ご支援を改めてお願い申し上げます。

資料1をご覧ください。1枚目が大会開催基本計画の骨格を示した資料であり、2枚目以降で概要を示しております。この大会開催基本計画は、大会開催準備の枠組みを提供する基本的な計画であり、来月の2月までに国際オリンピック委員会（IOC）そして国際パラリンピック委員会（IPC）に事務的な調整の上、提出をする予定です。

この計画は全体で7章構成になっており、第1章には「全員が自己ベスト」、「多様性と調和」、「未来への継承」という3つを基本コンセプトとする大会ビジョンを掲げております。第4章には例示として掲げさせていただいている通り「競技」、「放送サービス」、「エネルギー」、「セキュリティ」、「ドーピングコントロール」といった大会運営に必要な52のファンクショナルエリアについてそれぞれの機能を明確化しております。第6章になりますが、「アクション&レガシー」を記載し、「スポーツ・健康」、「文化・教育」など5本の柱を設定しております。リオオリンピック後の2016年から2020年まで本格的にアクションを実行していきます。また2020年以降、大会が終わった後にも新しいスポーツ文化、或いはボランティア文化といったものを次の世代に残すべく、レガシーについても検討し、「アクション&レガシープラン」としてとりまとめていく予定です。このように、レガシーを大会前のアクションと結び付け、計画初期の段階から包括的に取り組むことは、東京2020が初めての試みであり、今回の基本計画の特色の一つでもございます。

また、申し遅れましたけれども第1章では、パラリンピックへの取組姿勢についても記載しております。東京は同一都市で初めて2回目のパラリンピック大会を開催する都市になりますので、パラリンピックムーブメントのさらなる発展に貢献していきたいという点も強調した基本計画になっております。今後は、この基本計画に基づきまして大会準備を本格的に進めてまいりたいと考えておりますので、各省庁におかれましては、個々の分野での具体的な連携や役割分担、「アクション&レガシープラン」の検討など引続きのご指導、ご支援をお願いしたいと考えております。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

【杉田副長官】

ありがとうございました。

議事の2つ目の「「大会開催基本計画の推進等円滑な準備に向けて国の対応が期待される事項」の進捗状況について」について、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室の平田室長より説明をお願いします。

【平田室長】

平田でございます。資料2に基づいてお話を致します。ただいまご説明がありました「大会開催基本計画」におきましては、大会運営に必要な機能として、各府省庁の取組や対応が求められる事項が特に第4章を中心に多く盛り込まれることになっております。

これらの事項に係る取組につきましては、昨年4月以降、オリパラ閣僚会議において「国の対応が期待される事項」として下村担当大臣から提示し、各府省庁におきまして検討を深めてきていただいたところでございます。これらの取組に係る関係府省庁の皆様のご尽力に感謝申し上げます。昨年9月の閣僚会議以降のこれらの進捗についてまとめましたので、資料2でご説明を致します。

まず1番目の「セキュリティ・安全安心」については、セキュリティ幹事会などの政府の検討体制が設置されたところでありまして、テロ対策に万全を期してまいります。

おめくりいただきまして次の2ページでございますけれども、「2. 復興・地域活性化」につきましては、復興の世界への発信や、ホストシティ・タウン構想、事前キャンプ地の募集を推進

してまいります。

この下にあります「3. 輸送」でございますけれども、首都圏空港の機能強化策、観客・関係者を円滑に輸送するためのオリンピック・レーンの具体化に向けた詳細設計などを進めております。

次の3ページの「4. 外国人旅行者の受入」については、多言語対応の強化や無料WIFIの整備などを進めております。

次の4ページでございますが「5. バリアフリー」については、大会に向けたアクセシビリティに関するガイドラインの策定などの検討を進めております。

この下の「6. スポーツ」については、オリンピック・パラリンピック競技の一体的な拠点構築などの検討を進めております。

次の5ページでございますけれども「7. 文化・環境」については、政府における文化プログラムや、次の6ページの競技の暑さ対策の検討を進めております。

最後にこの下の「8. その他」につきましては、大会推進本部の設置や基本方針の策定等につきまして特別措置法の提出を予定しております。

次に資料3をご覧ください。資料2に記載の施策ごとに今後の取組を工程表にまとめたものになります。セキュリティに関する検討体制の整備を例に説明いたします。表紙から3枚おめくりいただきまして、1ページをご覧いただきたいと思っております。

昨年3月から東京都や組織委員会との協議を重ねてまいりました。これに加え昨年10月に本関係府省庁連絡会議の下にセキュリティ幹事会を設置するとともに、シニアセキュリティコマンダーとして警察庁次長を登録するなど政府の体制も構築したところでございます。

今後、組織委員会等と連携して、リオ大会を目的に「統合化されたオリンピックセキュリティ計画」を策定するなど、大会に向けたセキュリティ対策を推進していく予定です。

これはあくまでもセキュリティを例にしたご説明でございますが、このほか50余りの「国の対応が期待される事項」を工程表としてそれぞれ整理させていただいております。その全ての項目ごとにしっかりと進捗管理していくことが、大会の円滑な準備に欠かせません。このため、「国の対応が期待される事項」の進捗状況及び工程表につきましては、わたくしども内閣オリパラ室として引き続きフォローアップさせていただく予定です。ご協力をお願い致します。

2月に予定されている大会開催基本計画のIOC・IPCへの提出により、いよいよ大会準備が本格化します。政府と致しましても、計画の提出を受けて、オールジャパンで東京大会に向けて取組を加速していく必要がありますので、関係府省庁の一層のご協力をお願いいたします。よろしく願いいたします。

【杉田副長官】

これまでの説明に関連をして何かご発言ございますか。

特になければ参考資料2の「ラグビーワールドカップ2019の準備状況について」、文部科学省から説明をお願いいたします。

【戸谷官房長】

現在、2019年のラグビーワールドカップの開催に向けまして、開催都市の選定が進められております。

本年1月10日から1月23日まで、ワールドラグビーからラグビーワールドカップの実施を委任されているラグビーワールドカップリミテッドが来日を致しまして、組織委員会と共同した開催都市立候補地の視察が実施されました。すべての候補地の会場予定地を視察するとともに、開催自治体から開催計画のプレゼンテーションを受けたと聞いております。

2月に開催が予定されております組織委員会理事会におきまして、組織委員会としての候補案を承認する予定でございます。現在、組織委員会にて候補地の案を作成しているところでございます。

3月には、ラグビーワールドカップリミテッドの理事会におきまして開催都市が承認され、10から12箇所程度の開催都市が決定される見込でございます。

本大会は、世界で3番目に規模の大きい国際大会でございまして、約200万人の観客動員数と約20万人の訪日外国人が見込まれております。このため、ラグビーワールドカップの具体的な準備・運営にあたりましては、安全かつ円滑な輸送手段の確保、セキュリティの確保など、オリンピック・パラリンピック東京大会と共通する多様な課題があります。

ラグビーワールドカップを成功に導き、我が国の大会開催能力を世界に示すため、関係府省庁の皆様におかれましては、東京大会との一体的な準備にご配慮しつつ、引き続きの積極的な取組をお願いするところでございます。以上でございます。

【杉田副長官】

ありがとうございました。時間の制約もございましたので、発言はこれまでとさせていただきます。

先程の平田室長の説明にもございましたとおり、2月にIOC・IPCに「大会開催基本計画」が提出をされます。これを踏まえて準備を加速してまいります。

先ほど説明があった施策の工程表に基づいて、東京大会まで残された5年余を逆算して、いつまでに何を行うのか進捗の管理をすることが極めて大事であります。

次官の皆さまには、強いリーダーシップで、その業務の進捗をしっかりと管理をしていただけますよう、一層のご努力をお願いいたします。

なお、本日の議事内容については、配布資料を含め内閣官房から公表することを予定いたしておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。本日は大変ありがとうございました。